



# 羅針盤

2013年度 第16号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部  
2014.1.15



新年明けましておめでとうございます。  
良い一年となりますように。

3年生の皆さんは、いよいよセンター試験ですね。体調に十分気をつけて、実力を余すところなく発揮できるように気持ちを盛り上げてください。

よく「センター試験の日は不思議なくらい雪が降る」と言う人がいます。実は私もそう思っていて、よく生徒に「用心なさい」と話をしていました。しかし、本当にそうなのか？と疑問を感じましたので、調べてみました。下が過去10年間の1月18日と、その年のセンター試験初日の東京の天気です。



1月18日	最高気温	最低気温	9時	12時
2013年1月18日(金)	6.2	0.3		
2012年1月18日(水)	9.1	1.5		
2011年1月18日(火)	10.6	0.1		
2010年1月18日(月)	8.8	1.8		
2009年1月18日(日)	7.7	3.2		
2008年1月18日(金)	5.7	2.1		
2007年1月18日(木)	11.5	5.8		
2006年1月18日(水)	8.8	3.7		
2005年1月18日(火)	12	5.3		
2004年1月18日(日)	9.2	1.5		

センター初日	
1/19(土)	
1/14(土)	
1/15(土)	
1/16(土)	
1/17(土)	
1/19(土)	
1/20(土)	
1/21(土)	
1/15(土)	
1/17(土)	

ご覧の通り、「よく雪が降る」は少々大げさなようです。おそらくは雪で混乱が生じた地方のことが全国ニュースで取り上げられるので、印象に残るといことのようなのです。また、この表よりも以前は確かに雪が多かったようです。温暖化の影響でしょうか。現時点での予報では今年の1月18, 19日も東京の天気は良さそうです。ただし、冷え込みはかなり厳しくなりそうなので、十分に対策をして頑張ってください！



3年生はすでにセンター試験受験上の注意を担当の先生から受けていることと思いますが、こちらからも重ねていくつか申し添えます。

◆ 1月17日(金)

- ・センター試験「受験案内」の冊子を再度熟読しながら翌日の持物を用意する。
- ・翌日の服装を用意する。英文字や地図の書かれていないものを選ぶこと。マスクや帽子の着用についても「受験案内」に記載あり。

◆ 1月18日(土) センター試験第一日

- ・緊張するのは当たり前。睡眠不足や多少の体調不良は「想定内」と考える。心配し過ぎて、飲み慣れない薬を飲んだりすることは避けるべき。
- ・朝食をしっかり食べる！
- ・交通情報や気象情報を確認。万が一異常があれば、冷静に対応策を考える。
- ・分かっていることと思っても、監督者の注意は良く聴き、問題冊子の注意事項は良く読む。英語リスニングも必ず指示通りに作業すること。
- ・受験番号や選択解答科目のマークには細心の注意で臨む。これらのマークは問題解答のマークよりもずっと重要！
- ・「まずい！緊張してきた」と思ったら、深呼吸する。深呼吸には自律神経のうち副交感神経の働きが強くなって、心身が落ち着いた状態になるという科学的根拠がある。
- ・試験開始とともに、問題を最後までざっと見渡す。例年と大きな違いは無いかな？その後、時間配分を考えてから解答をスタートする。
- ・自己採点用に問題冊子にマークしておくのを忘れないように。

◆ 1月19日(日) センター試験第二日

- ・一日目のことはとりあえず忘れて、二日目の科目に集中する。
- ・一日経験して分かったつもりのことでも、大事なことは全て再確認しながら臨むこと！



新年を迎えて、いろいろな大学の学長先生が年頭のメッセージを発表しています。

1月4日付の朝日新聞にも「躍進する大学の学長メッセージ」というタイトルで首都圏の24大学の学長先生の文章が掲載されました。それを読むと、ほとんどの方が「グローバル化」をキーワードとして述べられています。一例を紹介すると

- ・「グローバル化が加速し、膨大な情報が瞬時に世界を駆け巡る現代、私たちはしばしば自分を見失い、狭く同質的な空間に閉じこもりがちです。このような時代であるからこそ、物事の本質を捉える知力、変化に対応する柔軟な思考力、未来を切り拓く勇氣が求められるのです。」(立教大学・吉岡知哉総長)
- ・「国際的に活躍する人材を社会に送り出すことを目的に『英語強化プログラム』『国際インターンシップ』などの多彩なプログラムを整備し、人間としての成長を促すとともに高いレベルの国際的コミュニケーション能力を養えるようにしています。」(法政大学・増田壽男学長)
- ・「世界の多様な主張に真摯に耳を傾け、互いの人権を認めた上で主張すべきことは主張する。この普遍とも言える原理のもとで、私たちは、しなやかに、たくましく世界で活躍できる人材を育てたいと考えています。」(明治大学・福宮賢一学長)

こうした声からもわかるように、これからの時代に生きていく皆さんは大学受験に合格するためや、有名企業に就職するための勉強ではなく、幅広い知識と深い教養、そして社会の急速な変化に対応できる柔らかなものの考え方を身につけるために、毎日の学びに取り組んでいってほしいと思います。

以上